**NEWS RELEASE**

株式会社 ヨークベニマル

2026 年 11 月 20 日

# GAPJapan アワード 2026 を受賞しました
# ～産地と消費者をつなぐ GAP 推進の取り組みが評価～

株式会社ヨークベニマル(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:大髙　耕一路)、以下「ヨークベニマル」)は、この度、一般財団法人日本 GAP 協会が主催する「GAP Japan アワード 2026」において、一般部門を受賞しました。

本アワードは、GAP(Good Agricultural Practices)の普及や持続可能な農業の発展に貢献する優れた取り組みを表彰するもので、当社は「産地・消費者をつなぐ、ヨークベニマルの GAP 推進」をテーマとした取り組みが評価されました。

## 【評価された主な取組み】

ヨークベニマルでは、2017 年に「GAP 取組み計画」を策定し、安全・安心な農産物の安定供給と持続可能な農業の実現に向けて取り組んできました。

■GAP 人材の育成

青果担当者を中心に JGAP 指導員を育成するとともに、社員・生産者・取引先など 125 名が GAP 基礎研修を受講しています。認証取得を目指す産地へは JGAP 上級指導員を派遣し、GAP の普及を支援しています。

■三ツ星農産物と GAP 認証の推進

2023 年には、当社プライベートブランド「三ツ星農産物」の基準に JGAP 認証を追加しました。2025 年度には、三ツ星農産物に占める認証農産物の割合が 30%を超えています。

■産地と消費者をつなぐ取り組み

JGAP 認証農産物を活用した商品開発や GAP フェアの開催、店頭での販売・情報発信を通じて、GAP の取り組みや認証農産物の価値をお客様にお伝えしています。



GAP 認証農産物を紹介する売場の一例

## 【受賞のポイント】

当社は、小売業として自社社員が JGAP を理解したうえで産地へ出向き、認証取得を支援するとともに、産地の取組を実際の調達・販売につなげている点が高く評価されました。

また、認証取得を求めるだけでなく、人材育成や産地支援から、認証農産物の調達・商品化・販売、消費者への情報発信までを一体的に進める「小売業ならではの GAP 推進」が評価されています。

## 【今後に向けて】

ヨークベニマルは、これからも生産者の皆さまと連携しながら GAP の普及と認証農産物の取扱拡大に取り組み、安全・安心な商品をお客様へお届けするとともに、持続可能な農業の発展に貢献してまいります。